

## < 運営推進会議における評価 >

### 【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 福寿会	事業所名	グループホーム アクール
所在地	(〒 631 - 0811 ) 奈良市秋篠町 1567 番地		

### 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・令和 5 年 6 月に法人初の地域密着型サービスとして、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）を開設。
- ・「認知症になっても、住み慣れた地域で、地域の一員として生活を継続したい。」そんな思いを実現できるよう、家庭的な環境と地域住民との交流のもと、ご利用者が持つておられる能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるような支援を目指している。
- ・ご利用者、ご家族の多様化するニーズに柔軟に対応できるよう、法人内他事業所（あきしの整形外科クリニック、平城園診療所、また特別養護老人ホーム平城園・ならやま園、サービス付き高齢者向け住宅ヴィラ秋篠）との連携・支援体制の強化に努めている。

### 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 8 月 1 日	従業者等自己評価 実施人数	( 2 ) 人 ※管理者を含む
----------------	-------------------	------------------	-----------------

### 【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 8 月 22 日・10 月 24 日	出席人数（合計）	8/22（6）人・10/24（10）人 ※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	<input type="checkbox"/> 自事業所職員（8/22 1 人・10/24 3 人） <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員（各日 1 人） <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者（8/22 0 人・10/24 1 人） <input type="checkbox"/> 利用者の家族（8/22 3 人・10/24 5 人）		

自己評価・外部評価

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	外部評価	運営推進会議で話しあった内容	改善計画
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念、GH独自の理念を掲げている。職員間で共有し、援助における指針となるよう引き続き入職時における研修やミーティング等を通じて共有の機会を確保している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所単体ではなく法人全体としても、より地域に根付いた施設となれるよう新しく地域住民に向けて「健康フェア」を開催するなど、働きかけを積極的に行っている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族、自治連合会長、民生委員、地域包括支援センター職員を招き2カ月に一回、定期的に開催をしている。事業所の取り組みや事故報告、運営状況等を報告している。重要な課題である自然災害時における地域との連携に関しては、引き続き議論を続けていきたい。 ご家族からいただいたご意見に関しては職員間において共有させていただき、サービスの質の向上につなげることができるよう努めている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の開催案内および議事録は定期的に奈良市役所介護福祉課に郵送させていただいている。新しく加算の算定を行う際や、日頃の施設運営に関して、また重大事故発生時における事故報告の提出など、関係機関と連携を図っている。			

5	身体拘束をしない ケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法 指定基準における禁止の対象となる具 体的な行為」を正しく理解しており、玄 関の施錠を含めて身体拘束をしないケ アに取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人として身体拘束廃止に関する指 針の策定を行うと同時に、定期的な 研修を開催し身体拘束廃止に向け た理解を促している。現場において は特に【スピーチロック】など身近で 起こりうる拘束に関して、正しい知識 を習得できるように研修の機会を設 けている。(R6.10 に【身体拘束防止 研修】を実施)	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・『身体拘束をしないケアの実践』『虐待 の防止の徹底』の自己評価が[B]とな っているが、「[A]ではないのか」と逆に不 安になってしまう。」(ご家族) →「明らかな身体拘束や虐待の事例は ないが、現場においてはスピーチロック や不適切ケアなど身近で起こりうる拘束 や虐待に関して、正しい知識を習得し、 理解を深めていく必要があると感じてい る。よって[B]評価としている。」(管理 者)	今後のより良いサービス提供に向けて、 現場において、スピーチロックや不適切 ケアなどが身近で起きていないか。研修 や会議等を通じて適宜、振り返る機会を 設ける。 また、身近で起こりうる拘束や虐待に関 して、正しい知識を習得し、理解を深め ていくことで、より良いサービス提供を目 指していく。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連 法について学ぶ機会を持ち、利用者の自 宅や事業所内での虐待が見過ごされるこ とがないよう注意を払い、防止に努めて いる	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人として虐待の防止のための指針 の策定を行うと同時に、定期的な研 修を開催し高齢者虐待防止に向け た理解を促している。現場において は虐待に繋がりがかねない【不適切ケ ア】など身近に起こりうる事象に関し て正しい知識を習得できるように研 修の機会を設けている。 (R6.4 に【不適切ケアを考える】という 内容で研修を実施)	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事 業や成年後見制度について学ぶ機会を 持ち、個々の必要性を関係者と話し合 い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓐ. あまりできていない D. ほとんどできていない	当ホーム内に成年後見制度を利用 されている方はおられないが、必要 に応じて活用できるよう支援の準備 (学ぶ機会)を実践している。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利 用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、 十分な説明を行い理解・納得を図ってい る	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の締結時には十分な説明を行 った上、記名捺印を頂き、理解・納得 を図っている。また法改定時におい てもご案内をさせていただき必ず同 意をいただくなど理解・納得いただけ るように取り組んでいる。			
9	運営に関する利用 者、家族等意見の 反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員ならびに外部者へ表せる機会を 設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議やご面会時、またお電 話にいただいた意見をしっかりとケ アや施設運営に反映できるように取 り組んでいる。	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		

				<p>昨年の評価時に、「定期的なアンケートの実施や意見箱の設置」といった案をいただいていたが、現時点で未実施である。</p>			
10	<p>運営に関する職員 意見の反映</p>	<p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>A. 充分にできている  <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている  C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>定期的な面談の実施。また日々の業務中など必要時に短時間にて引き継ぎや面談を実施。申し送りや意見交換を行っている。職員個々の思いがケアに反映できるように繋げている。</p>			
11	<p>就業環境の整備</p>	<p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>A. 充分にできている  <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている  C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>法人の取り組みで「奈良県福祉・介護事業所認証制度認証」を受けている。人事考課制度では職員を評価、面談を利用して本人の考えを聞き取りし適切な助言を与えている。</p>	<p>A. 充分にできている  <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている  C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>・「人事考課制度における職員面談、評価とのことであるが、最近では部下が上司を評価する制度（360° 評価）があると聞く。部下の視点を評価制度に取り入れることで、より働きやすい環境が生まれるのではないか。」（ご家族）</p>	
12	<p>職員を育てる取り組み</p>	<p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>A. 充分にできている  <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている  C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>法人内には年間研修計画があり計画に沿って実施されるため研修参加には偏りがないようにしている。外部研修へも積極的に参加する機会も設けている。</p>	<p>A. 充分にできている  <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている  C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>・「研修の実施について、外部の人を入れて専門的な知見からの研修を開催してみてもどうか。内部の研修となると“研修をした”という記録のための研修となる危険がある。また、一斉での研修ではなく、その都度、必要な研修を必要な時に実施できたらよいと感じる。」（ご家族）</p> <p>・「職員個々にとって前向きな研修、将来を見越しての研修を期待する。」（ご家族）</p>	
13	<p>同業者との交流を通じた向上</p>	<p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>A. 充分にできている  B. ほぼできている  <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>同法人内他事業所間における交流や連携、研修の機会は確保できている。しかし他法人の事業所間におけるネットワークや相互訪問等の活動は実践できていない。</p>			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おらず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者には施設内での役割とし て、洗濯物を畳んでいただくことや、 調理レクリエーションへの参加など、 各々ができることを継続していただ くことで、共に助け合い、共に生活 を作っていける関係性を大切にしてい る。		
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前からの行きつけや馴染みの お店、美容院に出かけたり、以前利 用されていた介護サービス事業所か ら面会に来られたりと、ご本人がこれ まで大切にされてきた馴染みの関係 が途切れないように、ご家族の協力 をいただきながら努めている。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、 一日の過ごし方の希望や意向の把握に努 めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者の自宅での過ごし方を聞き 取り、思いのままに過ごしていただ けるよう努め、興味や関心ごとを整理し て、出来る事を主体的に行えるよう に工夫している。		
17	チームでつくる介 護計画とモニタリ ング	本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間で情報交換、課題整理を行っ た上で、ご入居者個々に応じたケア について話し合いを実施している。ま た、ご家族からケアに対してのご意 見等をいただきながら、現状に合っ たプラン作成を行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「職員が日々の勤務をしながら入居者 一人一人の意向や好み、希望を聞き取 ることは難しいのではないかと感じる。 入居時に趣味や嗜好、生活習慣など、 生活支援のヒントとなるものを(家族か ら)収集できるツールの活用などを検討 されてはどうか。」(ご家族)
18	個別の記録と実践 への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに 活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録の電子化により事務作業 の効率化を進めている。ご入居者 個々の体調や日々の様子を個人ケ ースに記録し、重要なことは管理者 に報告、又ノートに記載し申し送り時 に報告、情報を共有するようにして いる。ただし入居者数が増えて申し 送り内容が共有できていないと感じ	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「ICTの活用や文字起こしの活用など を通じて、記録にかかる時間の簡素化 を目指してはどうか。」(ご家族)

				る面もあるため、今後の課題(改善)である。			
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者より日常生活用品や嗜好品の購入希望があれば職員が代わりに購入をさせていただくこともある。緊急時の受診は職員が付き添いを行うこともある。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カットに出かけることが難しい方には地域の訪問理美容をご案内するなど個別のニーズに応えることができるよう支援している。 ご家族の援助のもと、馴染みの美容院に通っておられたり、ご家族が自室内でカットをされる方もおられるなど、ご本人の生活習慣の継続のために協力いただいている。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居後も住み慣れた地域で暮らすというグループホーム本来の目的のもと、かかりつけ医への受診をご家族のご協力をいただきながら継続している。薬局薬剤師による「居宅療養管理指導」において適切な服薬指導や服薬管理、薬歴管理を行うことでより安心して生活いただけるように支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院・退院時の病状説明に同席し、注意点や対応方法について確認しておくようにしている。また入院中に面会し病院関係者と相談できるように努め地域連携室とも連絡を取り治療経過の確認をしている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化および看取り介護に関する指針を作成。契約時や状態変化時には、ご本人やご家族と今後の生活の方向性についての話し合いを行っている。併設特養における看取り介護など、法人間で連携を図り、可能な限り心身ともに穏やかに生活いただける環境を提供している。 （【看取り介護】に関する研修も実施）	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・「可能な限り対応していただけているのであれば、【A】評価で差支えないかと思う。」（ご家族）	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内二においても定期的に事故予防・リスクについて研修を行っている。また AED 研修や応急処置・緊急対応マニュアルも整備している。急変時には担当看護師からその都度指示を受けて対応する体制を整えている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自然災害及び感染症発生時における事業継続計画を策定。災害対策に関しては年 2 回の避難訓練を実施している。災害時における地域との協力体制を構築できるように引き続き、運営推進会議を通して取り組んでいく。	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・「まだまだ課題は多く、協力体制の構築などこれからだと感じる。」（ご家族）	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体の取り組みとして「接遇委員会」を立ち上げ、定期的な会議を開催。またその内容を現場にフィードバックすることで、職員個々の丁寧な対応、接遇力の向上を目指している。同時に、ご入居者の今までの生活環境や個性を尊重し、その人の行動に合った配慮をもって、ケアの対応ができるように努めている。引き続き、ご入居者個々の人格を尊重し、プライバシーを損なわない声掛け、配慮を実践していく。	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・「法人全体での委員会の立ち上げや定期的な会議の開催など、十分に配慮されていると思う。」（地域住民代表） ・「接遇委員会で取り上げた内容がわかれば、より評価しやすかったと考える。」（ご家族）	

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の関わりの中で(会話を通して)個々のご入居者が何を望み、何に興味を持たれているのかを探る努力をしている。その中から表出された意見や希望に関して(例えば「〇〇が食べたい」「〇〇に行きたい」といった希望)には可能な限り添えるように努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	母体特養内厨房から食事が温冷配膳車によって GH に届けられる。食事がより楽しみなものとなるよう、ご入居者の前で盛り付けを行っている。また「今日はもう少しご飯を盛ってほしい」「今日は少な目で」など、その時その時の状態に合わせて対応できるように、コミュニケーションを図っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>・「ご入居者と一緒に食事を作る機会はあるのか。」(地域住民代表)</p> <p>→「通常の食事提供時において一緒に作ることはないが、レクリエーション時には可能な限り協力いただいている。」(管理者)</p> <p>・「硬いものや柔らかいものなど選択はできるのか。」(地域住民代表)</p> <p>→「現在は、主食において米飯かお粥、ミキサー食の選択。副食については普通食かミキサー食の選択となっている。副食を刻む必要がある方については、職員が細かく刻んで対応している。」(管理者)</p> <p>・「日々の食事の内容(献立)を本人に聞いても覚えていない。HP に献立をアップしたりできないか。(面会時の会話のきっかけとなる。)」(ご家族)</p>	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の献立に関しては、管理栄養士にて栄養バランスが整ったものが提供されている。食事摂取量、水分摂取量に関しては個々に記録。水分摂取量が少ない方に関しては嗜好品を持参いただくなど工夫している。一日を通じて把握できるように職員間での引き継ぎを行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床時や毎食後に口腔ケアを促している。ご自身で口腔ケアが難しい方は介助にて実施。歯科医師による【口腔機能維持管理体加算】を算定するなど、口腔ケア(口腔内の清潔保持)に引き続き力を入れていき	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>・「入れ歯の取り扱いなどについては、どのようにされているのか。」(地域住民代表)</p> <p>→「義歯の付け外し、洗浄、管理などご入居者個々の状態に合わせて(必要に合わせて)介入している。」(管理者)</p>	



				たい。		・「【口腔機能維持管理体制加算】について、歯科医師からの助言内容等を教えていただけたらありがたい。」(ご家族)	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の排泄パターンを記録から分析しトイレへの誘導を行っている。身体機能においてトイレ誘導が難しい場合にも、日中のみ職員2人介助でトイレ誘導を実施するなど、可能な限りトイレでの排泄を継続できるように取り組んでいる。夜間帯など、パットを使用される場合には尿量などを観察し適切なパットを使用できるように配慮している。	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・「個別対応、大変であるかと思いますが可能な限りで実践されているとのこと。安心しました。」(地域住民代表) ・「個人的には少ない職員数で良く対応されていると思います。」(ご家族)	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1週間に2回の入浴となっているが、安全に入浴いただけるように身体機能面および認知症状など、職員とマンツーマンでの入浴に不安が生じる方に関しては職員2名体制で実施するなど、気持ちよく入浴いただけるだけでなく、安全安心に入浴いただけるように配慮している。個浴の浴槽はお一人ごとにお湯を入れ替え、入浴剤を使用するなど気持ちよく入浴いただけるよう配慮も行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できるだけ日中、散歩や日光浴を行い、夜間は良眠できるように努めている。寝具類や空調は個々の希望に合わせて対応している。また見守り機器(ネオスケア)を全居室に導入。安全に休んでいただけるよう配慮を行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に処方された医薬品情報書をファイリングし、服薬変更時には差し替えを行っている。また、薬局薬剤師による「居宅療養管理指導」において適切な服薬指導や服薬管理、薬歴管理を徹底している。服用に際して	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・「薬の飲み忘れや、飲み間違いなどはないか。」(地域住民代表) →「服薬マニュアルに沿って口の中にお薬を入れて飲み込まれるまで確認をしているが、お薬の認識が難しく、舌の裏などに隠され、その後吐き出される…」といった事例	

				の不安がある際などには、薬剤師より主治医に連絡・確認を実施するなど安全に服薬できる体制を構築している。		はある。そのような場合、居宅療養管理指導（連携薬剤師）に相談し、錠剤を粉碎していただいたり、次回の処方より粉薬で処方していただくなど、可能な限り正しく服用いただけるように努めている。」（管理者）	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者の生活歴や希望、強みを活かした役割作りや趣味活動が充実できるよう、集団でのレクリエーション、また個別レクリエーションなど、様々な活動を支援している。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の協力の元、お墓参りや買い物、外食など、日常的な外出支援を継続できている。感染症に注意しながらではあるが、引き続き日常的な外出を支援できるように取り組んでいきたい。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自身で現金を管理されているご入居者もおられるが（手元にお金がないと不安に感じられる方など）基本的には【預かり金】という形で管理し、外出や買い物時には直接、お金のやりとりが可能な方にはお渡しし実際にお金のやり取りを職員サポートのもと、実践していただいている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族の意向を確認の上、ご本人が希望された時は施設内の電話を使用している。			
39	居心地のよい共有空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	過度な飾りつけは控え、適度に季節を感じるができる装飾を心がけている。また、飾り付けを行う際には、ご入居者にも参加していただくなど、居心地の良い共有空間となるよう働きかけを行っている。引き続き、生活感を感じることができ、ご入居者にとって穏やかに心地良く生活できる環境を整えていきたい。施設周辺に緑（自然）が少ないため、花や植物等、	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・「周辺に緑（自然）が少ないとのことであるが、子供たちとの交流の機会が多く、日常でも子供たちの声が聞こえる（敷地内に福寿会マミーズ保育園あり）など、良い環境であると思う。」（地域住民代表・ご家族）	

				環境整備に努めていきたい。			
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自らご自身の希望や思いを口に出すことができる方、またそうでない方。さまざまであるが、職員との日々の生活、コミュニケーションを通して職員が個々のご入居者の抱えておられる思いを汲み取る。また、その思いに沿った生活を支援できること。引き続き支援していきたい。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH 入居後も、地域のご友人が面会にいられて自室内で共に過ごされるなど、出来る限りご本人にとって馴染みの関係を継続いただけるように支援している。ご本人、ご家族、職員におけるコミュニケーションを密にすることで、よりご本人らしい暮らし、ケアを提供することができる。引き続き支援していきたい。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族、介護職員、看護職員、かかりつけ医など、コミュニケーションを密にすることで、健康面・医療面・安全面・環境面において安心した生活、ケアを提供することができる。また事故報告やヒヤリハットの共有、日頃のケアの気づきなど、職員間における共有も大切にしていきたい。医療支援については、協力医療機関である白庭病院との連携強化に努めている。（【協力医療機関連携加算】【高齢者施設等感染対策向上加算】含め）	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		

43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が生活のペースを整える必要がある方、またそうでない方、ご入居者にとってさまざまである。サービスが画一的にならないように意識して支援していきたい。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で生活されている頃から使用されていた、テレビ・写真・ソファ・ぬいぐるみ等の生活用品を持ち込まれている。使い慣れたものが身近にあることで安心して生活されている。	ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・「現在、掛布団のみであるが、家で使っていた毛布や電気毛布など持ってきても良いのか。」(ご家族) →「夏用、冬用それぞれ掛布団交換は実施しているが、以外に毛布や電気毛布が必要な方はご持参いただいて差支えない。」(管理者) ・「入居時に持ち込み可能な物、不可な物の一覧を具体的に書面で作成してもらえると、入居の際に安心できるのではないか。」(ご家族)	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	戸外への外出に限らず、施設内におけるイベントや行事への参加に関しても個別にご意向を伺っている。ただし少しでも興味を持てただけのような配慮、働きかけの工夫、また個々の体調や趣味嗜好に合わせた小人数ごと(個別)のレクリエーションや取り組みなどもより配慮していきたい。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お一人お一人の認知症の症状に合わせて(不安や混乱、葛藤…個々の周辺症状を理解した上で)、個々に応じた役割や楽しみを提供できるように職員間で意見交換や情報共有を深めていきたい。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者が不安を感じられたり「ちょっと話を聞いてほしいな」「話がしたいな」と感じられた際に身近にいることができるよう。職員がご入居者にとって身近な存在(心理的・物理的)でいることができればと考える。日常生活における会話、関わりの機会を大	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		

				切に、日々の生活の中に楽しを感じていただけるように努めていきたい。			
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の協力を得て、ご本人がこれまで大切にされてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援を継続している。引き続き、『住み慣れた地域で暮らす一員である』ということ忘れずに、交流の機会を確保していきたい。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「GH に入居してから笑顔が増えた」「初めは不安もあったが、皆良くしてくれるので、ありがたい」といった嬉しい言葉を頂戴するたびに、この GH がこれからもご本人、ご家族、職員、地域住民とのつながり、拠点となるように、よりご入居者個々の思いに耳を傾けながら安心安楽に過ごしていただけるように支援していきたい。開設後2年強。2フロア完全稼働となったが、引き続き、職員一同、力を合わせてご入居者、ご家族、地域住民との関係性をより強固なものとしていけるよう、精進していきたい。	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・「法人内相互連携のもと、ホーム運営をされており、良いホームであると思う。今後、地域活動において、(地域側が)依頼することも出てくると思うが、その際は協力をお願いしたい。」(地域住民代表) ・「本人に『何も心配なくていいよ』と伝え、『そうやな、ここなら安心やからな』と言っている。こちらで過ごす日数が増えていくとますます安心感が増えていくと感じている。」(ご家族)	引き続き、法人内相互連携のもと、ご入居者・ご家族が安心でき、より良い日々を送っていただけるよう、サービスの質の向上に努めていきたい。